

Jump 井坂しんや

E-mail shinnya-isaka@yokosuka-city-council.jpホームページ <http://homepage3.nifty.com/shinya-isaka/>

市議会第1回定例会

09年度予算審議始まる

2月20日から2009年市議会第1回定例会が始まります。この議会は、09年度の予算を決める議会となり、1年に4回ある定例会の内、最も期間が長く、市政全体にわたって論議される議会となります。

20日に市長からの施政方針演説があり、その後27日から各会派の代表質問が行われますが、日本共産党市議団は3日にねぎしかずこ議員が行います。

議会の開催日程は以下のとおりです。

市議会の開催予定

- 2/20 (金) 議会運営委員会
本会議 (第1日) 14:00～
- 23日 (月) 民生・建設常任委員会
- 24日 (火) 総務・教育経済常任委員会
- 26日 (木) 議会運営委員会
- 27日 (金) 本会議 (第2日) 10:00～
- 3/2 (月) 本会議 (第3日) 10:00～
- 3日 (火) 本会議 (第4日) 10:00～
- 5日 (木) 民生・建設常任委員会
- 6日 (金) 総務・教育経済常任委員会
- 9日 (月) 民生・建設常任委員会
- 11日 (水) 総務・教育経済常任委員会
- 12日 (木) 民生・建設常任委員会
- 13日 (金) 総務・教育経済常任委員会
- 16日 (月) 民生・建設常任委員会
- 17日 (火) 総務・教育経済常任委員会
- 23日 (月) 医療環境問題特別委員会
- 25日 (水) 議会運営委員会
本会議 (第5日) 14:00～

※ 委員会開始時間はすべて10:00の予定です

※ すべて傍聴できます。議運以外はインターネット中継をしています

経済危機の中、国民の暮らしを最優先にすることはいうまでもありません。また、市長選挙の年でもありますので市長としての基本姿勢が問われる予算でもあります。

新中央図書館建設計画は凍結

09年度予算案の発表で、横須賀中央駅南街区に建設予定だった新中央図書館の凍結が発表されました。

この計画は約8年前、民間企業と一緒にあって現在の児童図書館の場所に再開発手法で、未来型図書館と住居が一緒になった高さ100mを超えるビルを建てる計画でした。

その後、この再開発計画が余りにも問題があることからわが団も追及し、再開発計画を撤回させました。しかし、民間企業に有利な土地活用を図る方向が示され、現在この会社は、単独で高層ビルを建てる計画を進めています。

私たちは、図書館は重要な施設であると位置づけています。しかし不便とはいえ、すぐ近くに中央図書館があること、西地域への図書館建設を先行させること、また、財政状況などから新中央図書館の建設については今行うべきでないとずっと主張してきました。

パブリックコメントの募集があります

2月16日～3月9日にかけて、パブリックコメントの募集があります。

今回は、「横須賀市緑の基本計画」についての意見募集です。

市民アンケートで「横須賀市の魅力は？」との問いに「自然がある」「海と緑がある」というのがいつも上位です。

横須賀の緑を子どもたちに残すためにも多くの方のご意見が必要です。

資料は市のHPや行政センターで手に入れます。また、意見は郵送・ファックス・メールなどで受け付けています。

教経常任委員会の視察

1月22日に教育経済常任委員会で野比小学校を視察しました。

来年から小学校の給食費が3300円から4000円に値上がりすることとなり、第4回定例会で論議となりました。その論議を受け、小学校の給食の実態を見ることと各小中学校に配置されているコンピューターやプロジェクターを使っの授業がどのように行われているかを視察しました。

給食は、年に3回の自校献立(他校と一緒にではなく独自にメニューを決め、地元で取れた食材などを使う。)で、チャーハン・かわり煮豚・ブロッコリーのナムル・いちご・牛乳でした。

値上げする理由は、①主要食材の値上がり、②給食回数の増、③地産地消の推進とのことですが、議会の中では各党派の方から値上げ幅が大きすぎる、改正理由が希薄との意見が出されました。



(当日の給食です。とても美味しかったです。)

給食は食材費を保護者負担としており、確かに内容が悪いのであれば改善が必要ですが、あまりにも急激な上げ幅であることなどもっと慎重になるべきです。食育が重視される昨今、市が目指すべき方向とは違うといわざるを得ません。

パソコンなどを使った授業については、特別支援学級をはじめ、3年生と6年生の各2クラスずつ計5クラスの授業を見学しました。それぞれ先生たちも工夫しながら授業を進めていましたが、私が重要だと感じたのは、教材作りと教員に対する研修だと思います。教育委員会も研修や教材づくりの手助けをしているようですが、授業は毎日のことですので、生徒が帰ってからのいろいろな取り組みがされていることを考えると改めて大変な仕事だと感じさせられました。

原子力空母のメンテナンス

外務省と原子力空母のメンテナンス作業について懇談

2月9日に外務省に行き、原子力空母のメンテナンス作業について懇談をしました。

私は率直に言って、「どこの国の外務省か！」と怒鳴りたい心境になりました。

メンテナンス作業の内容について聞いても「ファクトシートの範囲内と聞いている」「具体的な内容については私たちが述べる立場にない。米軍に聞いてくれ」などの回答ばかりで、まともに答えようとしません。

原子炉に係わる作業ですので事故の危険性もあり、市民が安全性に関心を持つのは当たり前です。それを外務省が米軍に聞いてくれとは、まさに外交を投げ捨てたというしかありません。

米海軍のイージス艦がボートに接触。捜査に協力せず

2月15日に米軍のイージス艦がボートに接触しました。あわや大惨事になるところでした。

この事故に対して米軍は海上保安庁の立ち入り調査を拒否しています。安全航行を徹底させるためにも地位協定を見直し、米軍に捜査を受け入れさせるようにしなければなりません。

井坂しんや事務所

顧問弁護士による

無 料

法律相談

毎月第2火曜日

午後5時～8時

※ 事前に予約をしてください

TEL 046-849-1951